

3. 河川環境の現状と課題

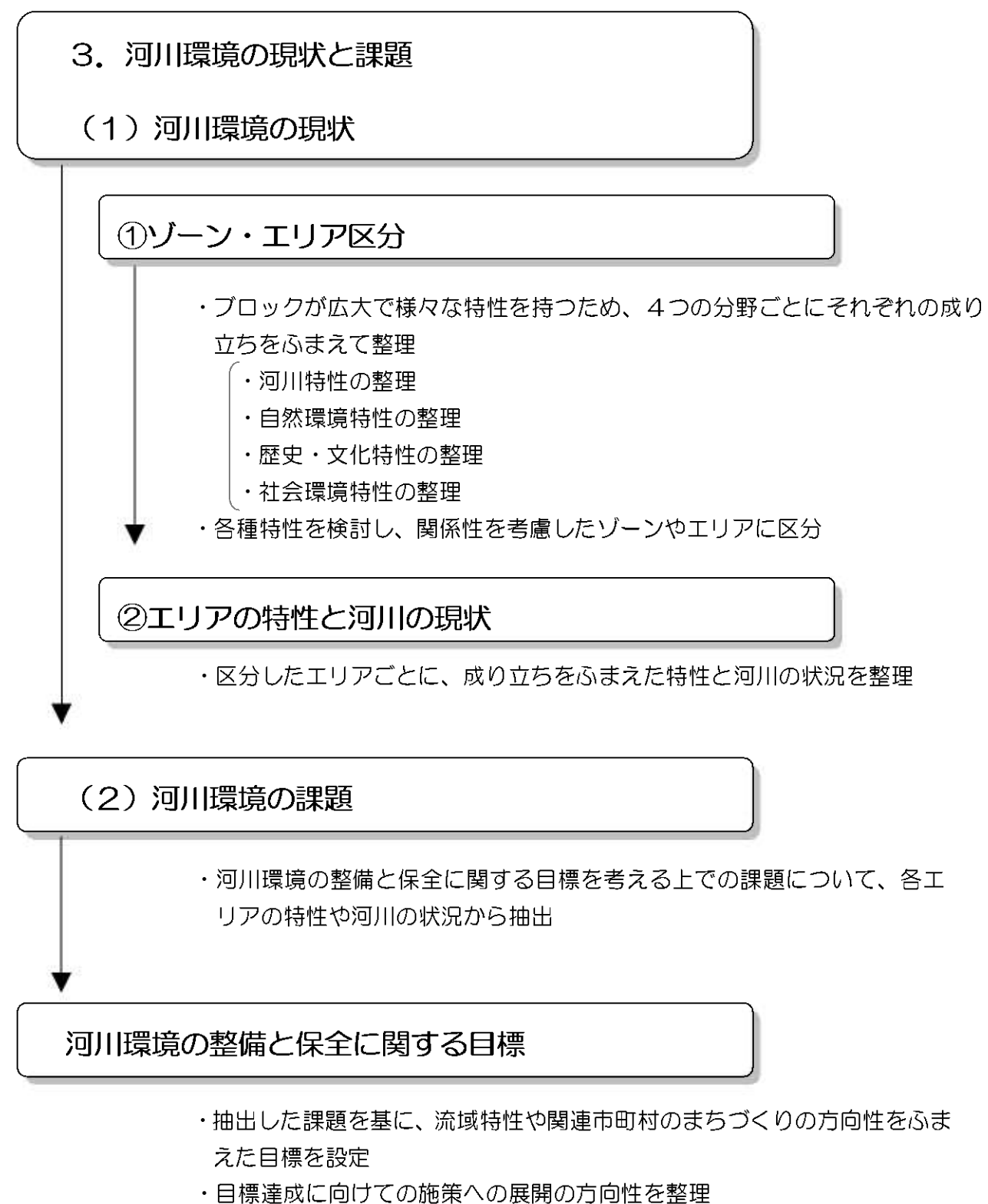
(1) 河川環境の現状

①ゾーン・エリア区分

石川ブロックは、流路延長約 36km、流域面積約 222km²で南大阪最大の河川である石川を含むブロックであり、このため、山地、農地、市街地といった様々な流域特性を持っています。この流域特性は、過去から河川とそれに伴う自然環境があり、その恵みを受けるよう、川のまわりには、田畑や舟運、そこから人の流れとして街道がつながり、人の営みが発生し、歴史・文化が形作られました。その結果、川の周りには里地が広がり、街道の周りには市街地が広がっています。

このような流域の成り立ちを把握することは、本来の流域の持っている特性を知ることにもつながるものとなるため、各種特性を検討し、特性に応じたゾーンやエリアに区分し、それぞれの現状と課題を把握し、目標を設定していく必要があります。

[河川環境の整備と保全に関する目標設定までのフロー]



河川特性の状況をみると、石川ブロックの河川は、金剛生駒葛城山系の山々に源を発し、上流部は蛇行を繰り返し、勾配が急で瀬、淵が連続する溪流の様相を呈します。段丘地、低地を流れる中流から下流にかけては、やや直線的な区間が多くなり、勾配が緩く、川幅が広がり、瀬、淵のほか、堰による湛水域が見られるようになります。特に石川下流部は、川幅 100m 以上の区間が連続します。

【河川特性】

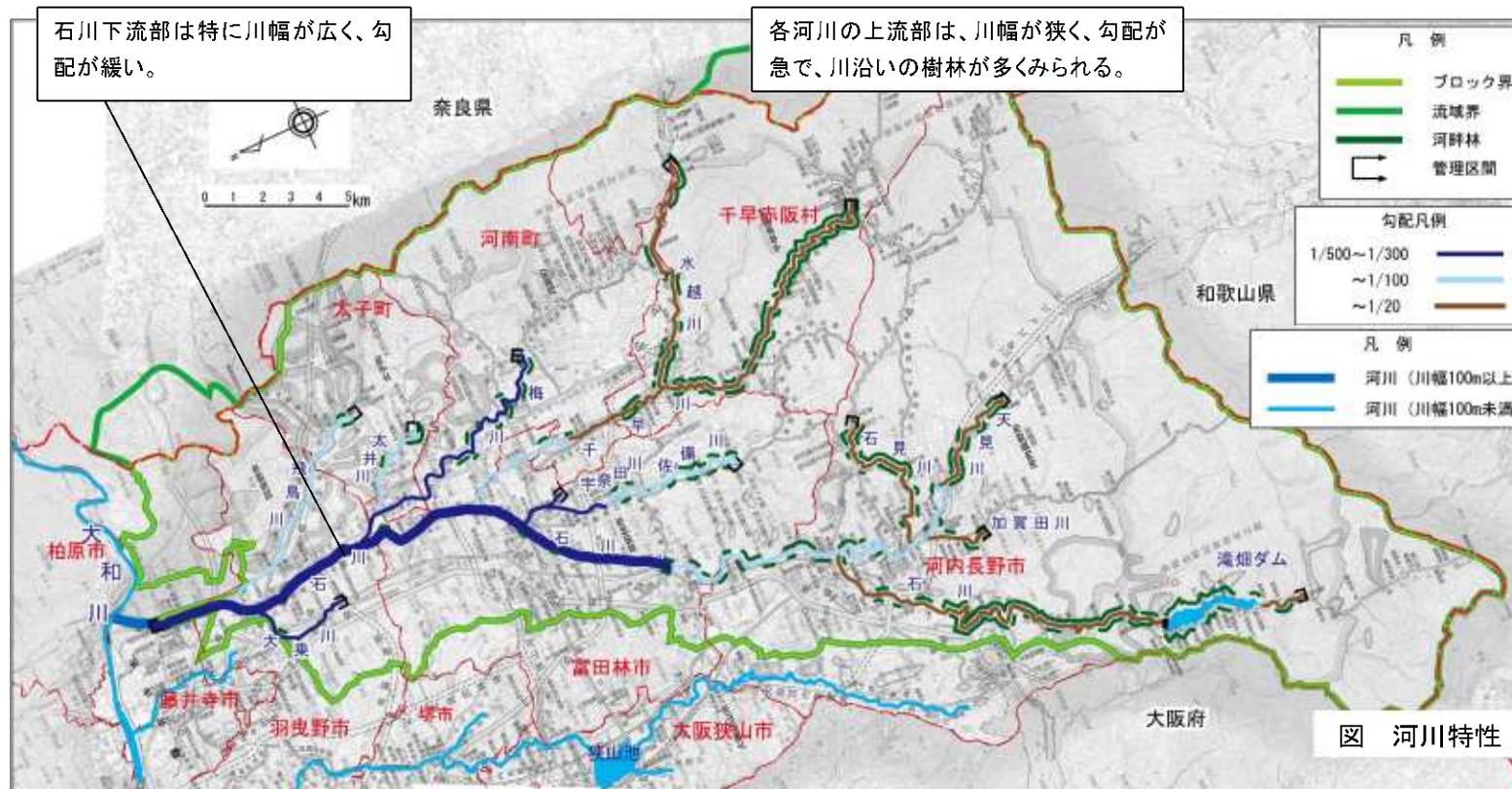


図 河川特性

自然環境特性の状況をみると、魚類や鳥類等の生物の生息状況のほか、基盤となる植生の分布状況などに着目すると、樹林の広がる東部、南部、宅地や農地が広がり樹林が点在する中央部、比較的樹林の少ない西部の大きく3つの地域に分けて捉えることができます。

東部、南部はスギ・ヒノキ等の植林が大部分を占める樹林が広がる山地となっています。河川は樹林と一体となった良好な自然環境を呈し、ヤマセミ、カワガラス等の鳥類、アブラハヤ、タカハヤ等の魚類、サワガニ、カワニナ等の水生生物、ムカシトンボ等の昆虫類など、上流域を特徴づける生物が生息します。中央部では、河川は農地周辺では水田や水路と一体的な里地の自然環境を呈し、西部では数少ない自然環境となっていて、イカルチドリ、オオヨシキリ等の鳥類、コイ、ギンブナ等の魚類、サカマキガイ、ミズムシ等の水生生物、カワラバッタ、キイロヤマトンボ等の昆虫類など、中下流域を特徴づける生物が生息するなど、河川は多様な動植物の生息・生育環境を育んでいます。

【自然環境特性】



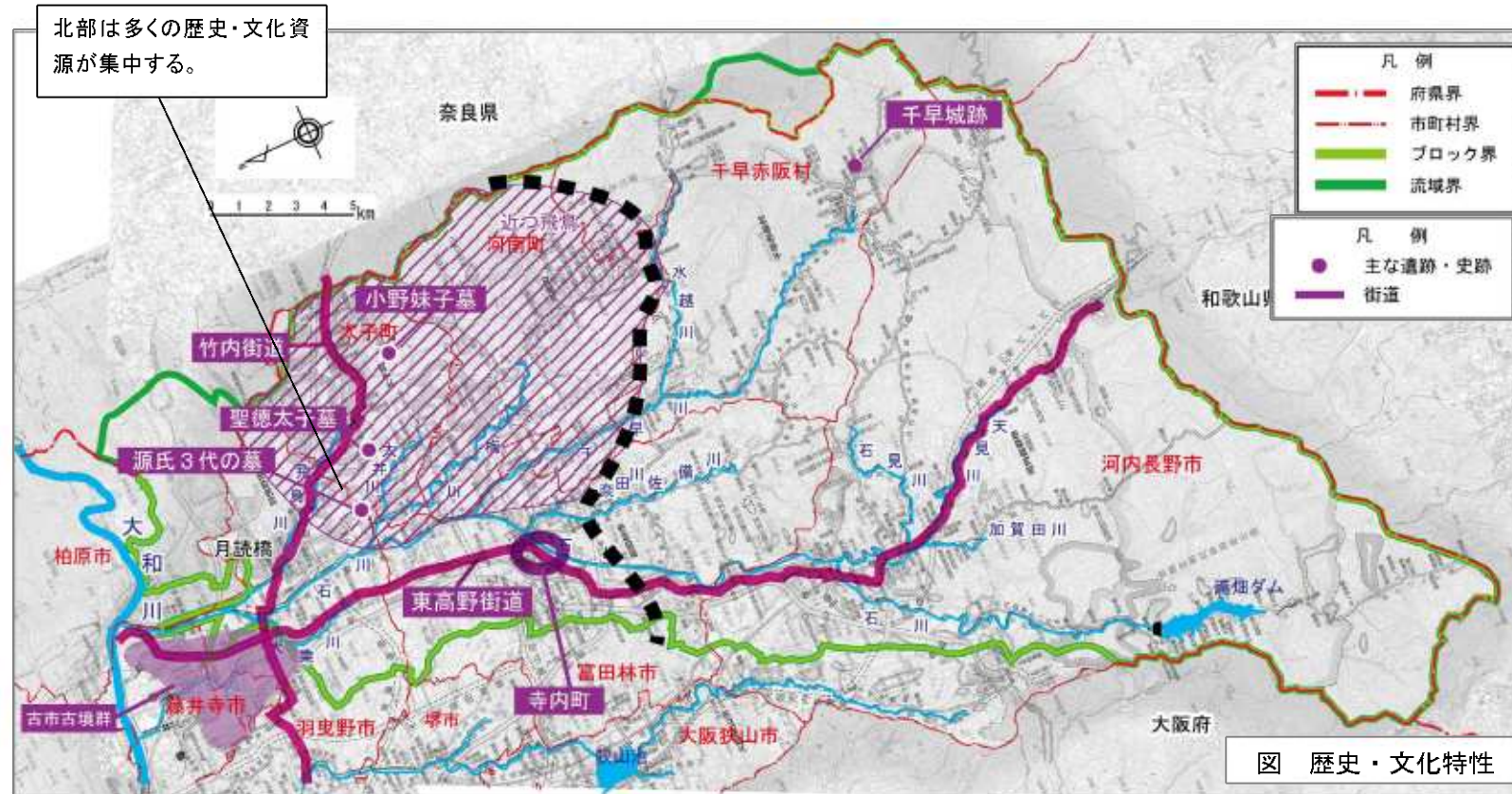
図 自然環境特性

歴史・文化特性の状況をみると、地域の成り立ちや歴史の表舞台となった時代などから、北部と南部の大きく2つの地域に分けて捉えることができます。

北部では、大和川合流点付近の古市古墳群で4～6世紀に多くの古墳が造られています。飛鳥時代には、飛鳥川沿いに奈良を結ぶ竹内街道が整備され、千早川周辺に至る地域は「近つ飛鳥」と呼ばれました。この地域には聖徳太子、小野妹子などの墓があり、古来より神聖な場所として位置付けられていたことが伺われます。平安時代には、石川沿いに京の都と高野山を結ぶ東高野街道が整備され、江戸時代には寺内町で造り酒屋などが栄え、石川は大阪へ往来する剣先船による水運が行われました。

一方、南部では、鎌倉幕府倒幕で活躍した楠木正成が築城した千早城跡などが残っています。

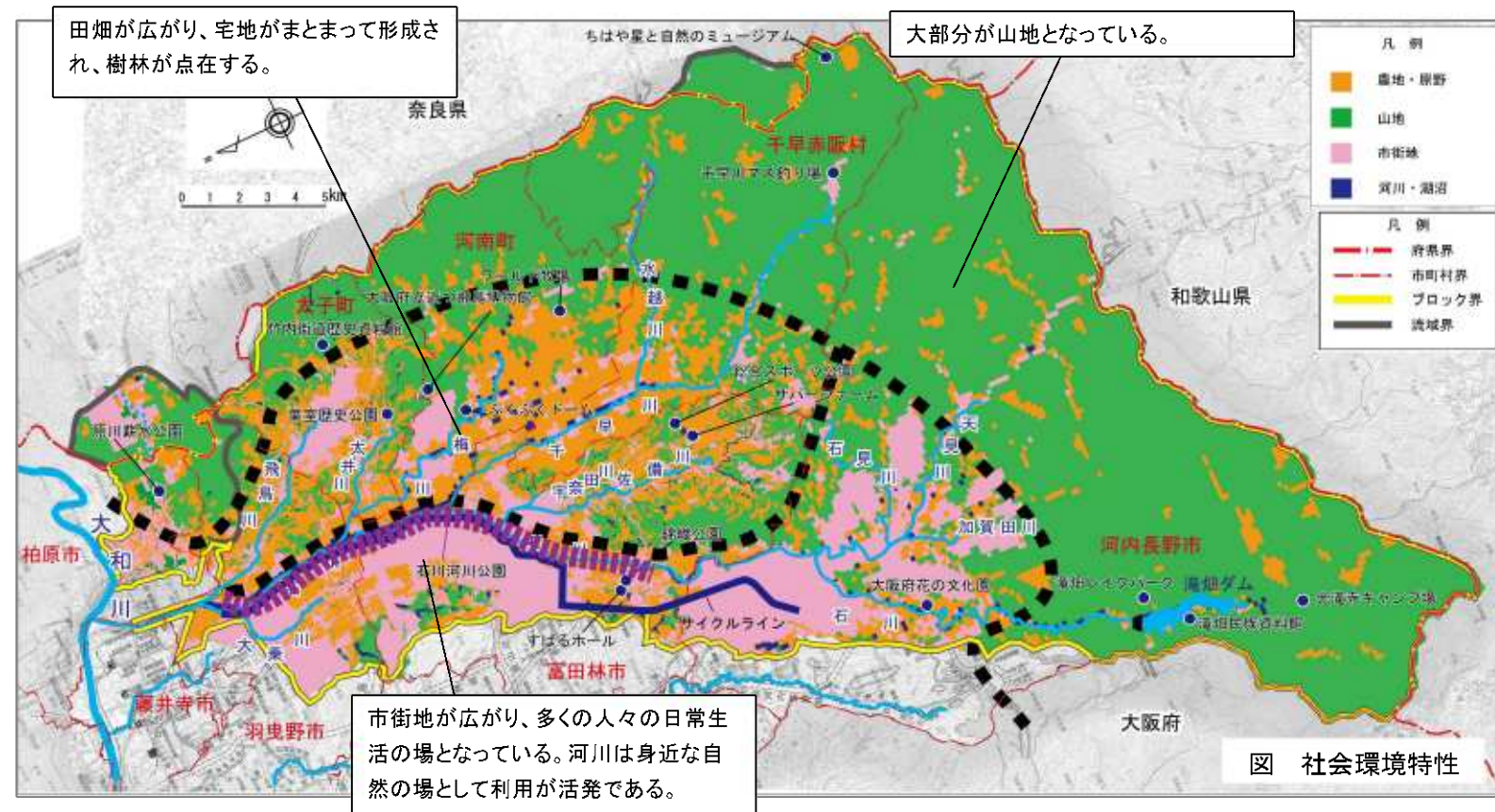
【歴史・文化特性】



社会環境特性の状況をみると、基盤となる土地利用の状況などに着目すると、樹林が広がる山地である東部、南部、農地や宅地のなかに樹林が点在する中央部、市街地が広がる西部の大きく3つの地域に分けて捉えることができます。

東部、南部は、人口は減少傾向にあり、林業は後継者不足等による放置林が増加しています。中央部は、人口は横ばい傾向にあり、農業は後継者不足等による耕作放棄地が増加しています。西部は、羽曳野市、富田林市周辺は古くから市街地が開け、河内長野市周辺は昭和40年代以降の急激な宅地開発により、市街地が広がっています。中央部と西部の境界を成している石川は、広い河川敷を活用した河川公園などの利用が活発です。

【社会環境特性】



石川ブロックは、河川特性、自然環境特性、歴史・文化特性、社会環境特性の状況をふまえると、「市街地ゾーン-A」、「市街地ゾーン-B」、「里地ゾーン-A」、「里地ゾーン-B」、「山地ゾーン」の大きく5つのゾーンに分かれます。さらに、複数のゾーンにまたがり特徴的な空間を形成する石川沿いの区域を1つのエリアとして捉えると、6つの区域に区分されます。



里地ゾーン-A

聖徳太子や小野妹子の墓があるなど、古来より神聖な場所として位置付けられていたことが同われ、飛鳥時代には奈良へつながる竹内街道が整備され、「近つ飛鳥」と呼ばれるなど、歴史・文化の色濃い地域である。多くの河川と水路網を生かした水田等の農地が広がり、樹林と一体となって里地の自然環境を形成している

里地ゾーン-B

川沿いを中心に宅地や農地が広がり、周囲は樹林に囲まれている。河川は、瀬・淵が見られ、川沿いの樹林も多く、棚田に代表される農地と一体となって里地の自然環境を形成している。

山地ゾーン

樹林が広がり、金剛生駒紀泉国定公園に含まれる良好な自然環境を有する。また、「千早城跡」など、楠木正成にまつわる歴史資源がある。河川は、勾配が急で瀬・淵が連続し、両岸に樹林が迫る溪流の様相となり、周辺の山地と一体となって良好な自然環境を呈している。

市街地ゾーン-A

平安時代から京と高野山を結ぶ東高野街道が川と併走し、沿道地域も発展した。江戸時代には寺内町で造り酒屋などが栄え、大阪と往来する剣先船による水運も活躍した。現在も国道170号と近鉄長野線が整備され、沿線は市街化が進展し、まちの骨格を形成する。河川は、市街地にあって貴重なオープンスペースであり、身近な自然の場となっている。

市街地ゾーン-B

昭和40年代以降、大規模な開発によって急速に市街化が進み、現在は多くの人々の日常生活の場となっている。河川は、蛇行する区間が多く、河岸に樹林が見られ、周囲の山地とともに、緑豊かな景観を形成している。

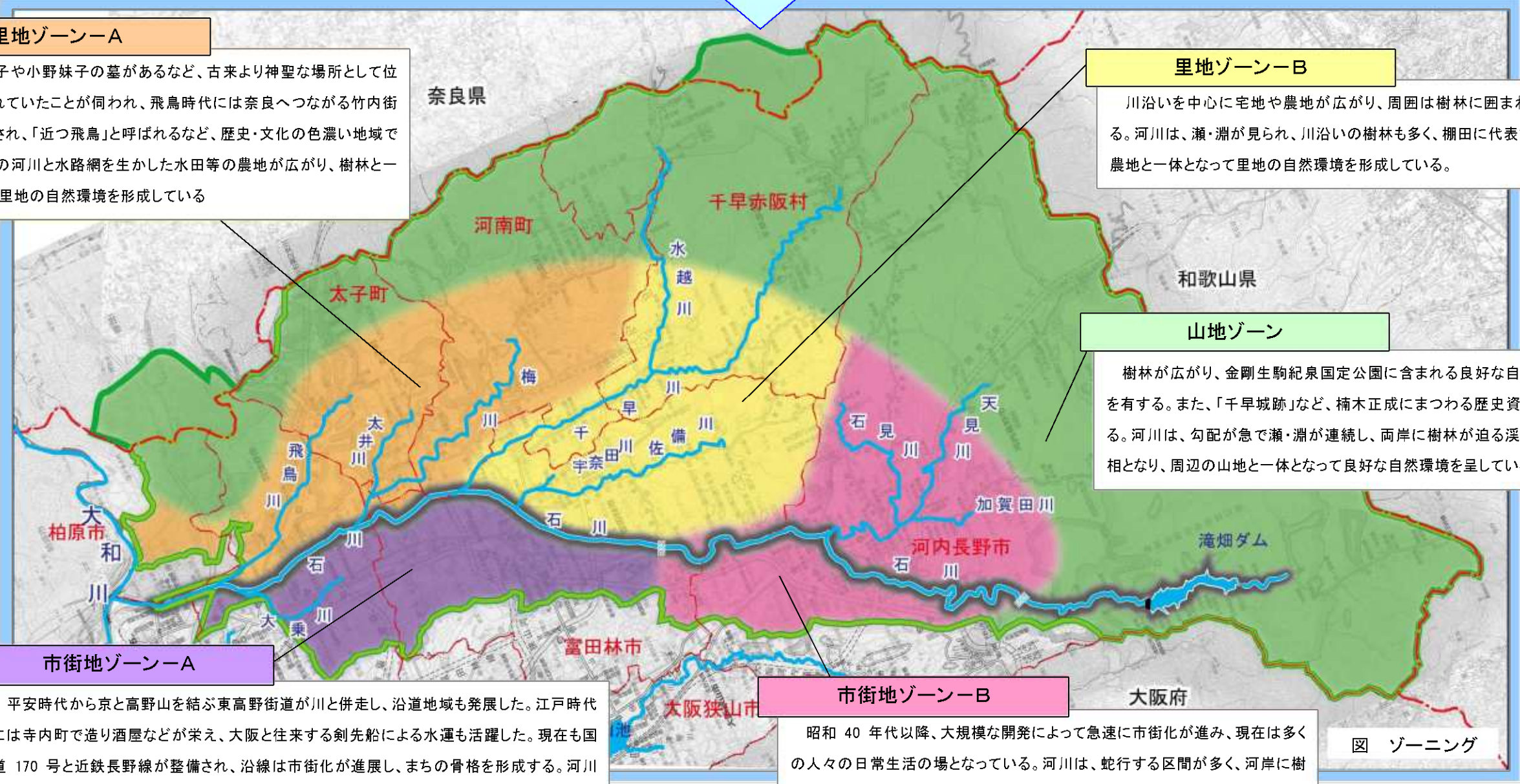
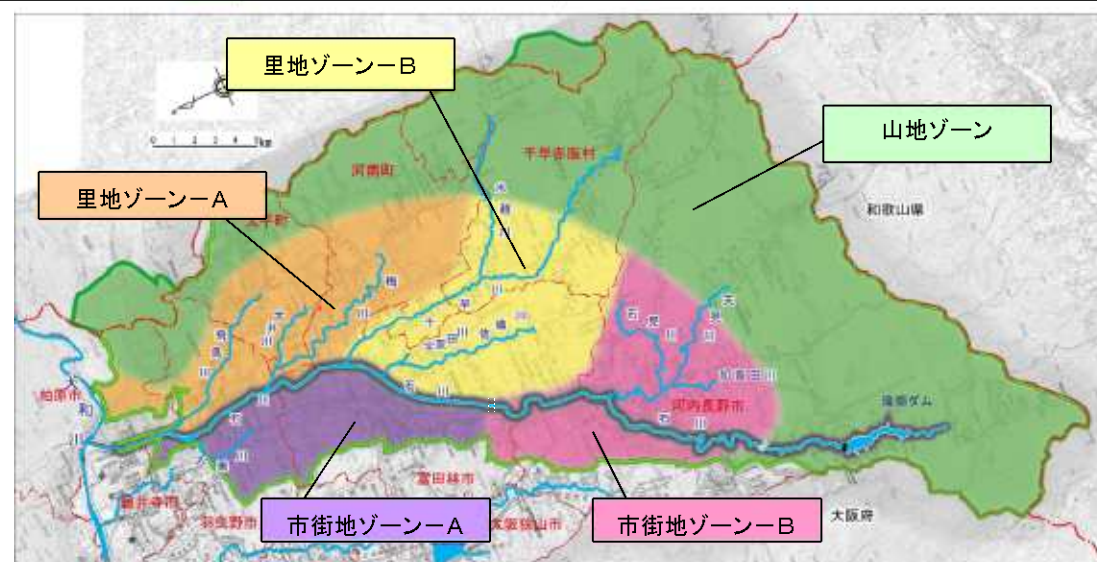


図 ゾーニング

【河川からみたエリアの概要】

本支川	ゾーン	エリア	概要	河川	市町村
石川本川	市街地ゾーン	A 1)石川下流エリア	<ul style="list-style-type: none"> 勾配が緩やかで、川幅が広く、堤防が整備されている。 平安時代の「東高野街道」が併走するほか、江戸時代には「寺内町」が栄え、「剣先船」による水運が行われているなど、古くから栄えた地域を流れる。 川幅が広く、河川や川沿いを利用する施設が連続的に整備され、活発な利用がなされるなど。(石川河川公園、サイクルライン など) 河川は数少ない身近な自然の場となっている。 石川河川公園(自然ゾーン)におけるワークショップの実施、アドプト・リバープログラムや石川河川敷花いっぱい運動、大和川・石川クリーン大作戦など、住民活動が盛んである。 	石川下流部	柏原市 羽曳野市 富田林市
	里地ゾーン	A			
		B			
市街地ゾーン	B 2)石川中流エリア	<ul style="list-style-type: none"> 河川と川沿いの樹林は、市街地において貴重な緑空間となっている。 河川周辺は市街地が広がり、多くの人々の日常生活の場となっている。 アドプト・リバープログラムを実施している。 	石川中流部	富田林市 河内長野市	
山地ゾーン	— 3)石川上流エリア	<ul style="list-style-type: none"> 河川は、勾配が急で瀬・淵が連続し、両岸に樹林が迫る溪流の様相となり、周辺の山地と一体となって良好な自然環境を呈する。 河川周辺には、滝畑レイクパークなどの公共・レクリエーション施設がある。 	石川上流部	河内長野市	
支川	市街地ゾーン	A 4)大乗川エリア	<ul style="list-style-type: none"> 平安時代の「東高野街道」が併走するほか、江戸時代には「寺内町」が栄えるなど、古くから栄えた地域を流れる。 河川周辺は市街地が広がり、多くの人々の日常生活の場となっている。 河川は数少ない身近な自然の場となっている。 	大乗川	羽曳野市
		B 5)天見川下流エリア	<ul style="list-style-type: none"> 河川と川沿いの樹林は、市街地において貴重な緑空間となっている。 河川周辺は市街地が広がり、多くの人々の日常生活の場となっている。 	天見川下流部 加賀田川、石見川	富田林市 河内長野市
	里地ゾーン	A 6)飛鳥川エリア	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥時代の「竹内街道」がとおるなど、古来より交通の要衝であり、政治上重要な地域であったため、多くの歴史、文化資源が集中する地域を流れる。(月読み橋、聖徳太子の墓、小野妹子の墓、弘川寺 など) 周辺には「近つ飛鳥博物館」、「葉室歴史公園」などの公共・レクリエーション施設がある。 河川は農地や樹林と一体となって里地の自然環境を形成している。 	梅川 太井川 飛鳥川	羽曳野市 太子町 河南町 富田林市
		B 7)千早川下流 ・佐備川エリア	<ul style="list-style-type: none"> 体験農園などのある「サバーファーム」などの公共・レクリエーション施設がある。 川沿いの樹林が多く、棚田に代表される農地と一体となって里地の自然環境を形成している。 佐備川では、アドプト・リバープログラムを実施している。 	佐備川、宇奈田川 千早川下流部 水越川下流部	富田林市 千早赤阪村
	山地ゾーン	— 8)千早川上流 ・天見川上流エリア	<ul style="list-style-type: none"> 河川は、勾配が急で瀬・淵が連続し、両岸に樹林が迫る溪流の様相となり、周辺の山地と一体となって良好な自然環境を呈する。 河川周辺には、「千早城跡」、「歓心寺」など歴史的人物(楠木正成)にまつわる資源がある。 	天見川上流部 千早川上流部 水越川上流部	羽曳野市 太子町、河南町 千早赤阪村 河内長野市



②エリアの特性と河川の現状

1) 石川下流エリア（石川下流部）

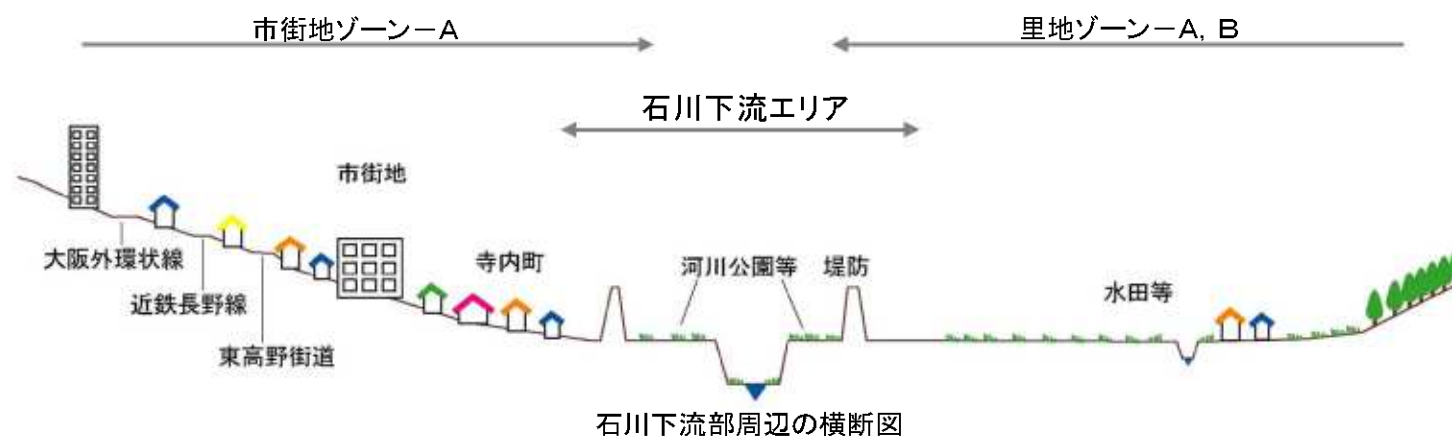
[エリア特性]

石川下流エリアの下流に向かって左岸側の地域（市街地ゾーン-A）は、平安時代から京と高野山を結ぶ東高野街道が川と併走し、沿道地域も発展しました。江戸時代には寺内町で造り酒屋などが栄え、大阪と往来する剣先船による水運も活躍しました。現在も国道170号と近鉄長野線が整備され、沿線は市街化が進展し、まちの骨格を形成しています。一方、右岸側の地域（里地ゾーン-A,B）は、聖徳太子や小野妹子の墓があるなど、古来より神聖な場所として位置付けられていたことが伺われ、飛鳥時代には奈良へつながる竹内街道が整備され、「近つ飛鳥」と呼ばれるなど、歴史・文化資源が集中する地域であり、また、多くの支川と水路網を生かした水田等の農地が広がります。石川下流部は、特性の異なる地域をつなぐ役割をもった河川として位置付けられます。

[河川の現状]

■石川下流部

- ・河道：幅約100～400m、河床勾配1/300～1/500、兩岸に堤防・高水敷
- ・水域：湛水域と砂礫の河原が見られる瀬が交互する
- ・生物：メダカ、タモロコ、ドジョウ、コウライモロコ、モノアラガイ など
- ・利用：石川河川公園、サイクルライン
- ・活動：ワークショップ、アドプト・リバープログラム、河川敷花いっぱい運動、クリーン大作戦 など



石川河川公園



寺内町



石川下流部

2) 石川中流エリア（石川中流部）

[エリア特性]

石川中流エリアの周辺地域（市街地ゾーン-B）は、かつては山林や農地が大部分を占めていましたが、近代になって大規模な開発によって急速に市街化が進み、現在は多くの人々の日常生活の場となっています。河川は、蛇行する区間が多く、河岸に樹林が見られ、周囲の山地とともに、緑豊かな景観を形成しています。

[河川の現状]

■石川中流部

- ・河道：幅約30～200m、河床勾配1/250～1/300程度、蛇行、樹林あり
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：タモロコ、ドジョウ、モノアラガイ、カスミサンショウウオ など、
- ・活動：アドプト・リバープログラム



石川中流部

3) 石川上流エリア（石川上流部）

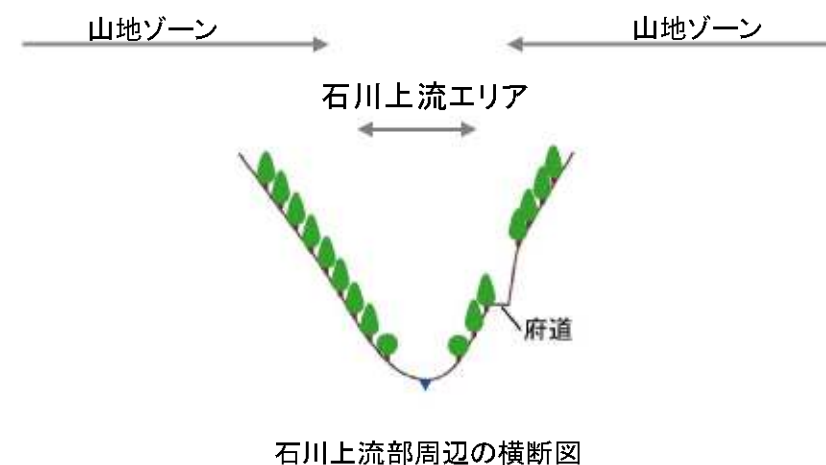
[エリア特性]

石川上流エリアの周辺地域（山地ゾーン）は、樹林が広がり、「金剛生駒紀泉国定公園」に含まれる良好な自然環境を有し、「一徳坊山」、「岩湧山」などの山々や「光滝」などの景観資源がみられます。河川は周辺の山地と一体となって良好な自然環境を呈し、「滝畑ダムレイクパーク」などの水辺利用がみられます。

[河川の現状]

■石川中流部

- ・河道：幅約 15m~30m、河床勾配 1/65 程度、蛇行、樹林あり
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：タカハヤ、ドジョウ、カワニナ、ゲンジボタル など
- ・利用：滝畑ダムレイクパーク など
- ・その他：滝畑ダム-湛水延長約 2.4 k m、湛水面積 52.3ha



光滝



石川上流部

4) 大乘川エリア（大乘川）

[エリア特性]

大乘川エリア（市街地ゾーン-A）は、平安時代から京と高野山を結ぶ東高野街道が川と併走し、沿道地域も発展しました。江戸時代には寺内町で造り酒屋などが栄え、大阪と往来する剣先船による水運も活躍しました。街道筋には国道 170 号と近鉄長野線が整備され、沿線はブロック内でも早い時期から市街化が進展し、多くの人々の日常生活の場となっています。河川は、市街地において貴重なオープンスペースであり、身近な自然の場といえます。

[河川の現状]

■石川中流部

- ・河道：幅約 20m、河床勾配 1/170~1/520 程度、直線的、護岸が連続、
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：タモロコ、ドジョウ など



大乘川

5) 天見川下流エリア（天見川下流部、加賀田川、石見川）

[エリア特性]

天見川下流エリア（市街地ゾーンB）は、かつては山林や農地が大部分を占めていましたが、近代になって大規模な開発によって急速に市街化が進み、現在は多くの人々の日常生活の場となっています。河川は、蛇行する区間が多く、河岸に樹林が見られ、周囲の山地とともに、緑豊かな景観を形成しています。

[河川の現状]

■天見川下流部

- ・河道：幅約 20m、河床勾配 1/200 程度、蛇行、護岸が連続
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：カマツカ、ドジョウ、モノアラガイ など、

■加賀田川

- ・河道：幅約 20m、河床勾配 1/65 程度、蛇行、河岸に樹林が迫る区間あり
- ・水域：瀬、淵がみられる

■石見川

- ・河道：幅約 10m、河床勾配 1/60 程度、蛇行、河岸に樹林が迫る区間あり
- ・水域：瀬、淵がみられる



天見川下流部



加賀田川



石見川

6) 飛鳥川エリア（飛鳥川、梅川、太井川）

[エリア特性]

飛鳥川エリア（里地ゾーンA）は、宅地や農地が広がり、所々に樹林が見られます。聖徳太子や小野妹子の墓があるなど、古来より神聖な場所として位置付けられていたことが伺われ、飛鳥時代には奈良へつながる竹内街道が整備され、「近つ飛鳥」と呼ばれるなど、歴史・文化の色濃い地域です。現在も多くの歴史・文化資源があり、「近つ飛鳥博物館」、「葉室歴史公園」などの公共・レクリエーション施設が整備されています。多くの河川と水路網を生かした水田等の農地が広がり、河川は、勾配が比較的緩やかで、直線的な河道もみられ、農地や樹林と一体となって里地の自然環境を形成しています。

[河川の現状]

■飛鳥川

- ・河道：幅 20~30m、河床勾配 1/200~1/280 程度、環境配慮型護岸あり
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：メダカ、タモロコ、ドジョウ、イソシギ など

■梅川

- ・河道：幅約 20~30m、河床勾配 1/350~1/400 程度、河岸に樹林が迫る区間あり（上流部）
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：カマツカ、メダカ、タモロコ、ドジョウ など

■太井川

- ・河道：幅約 20m、河床勾配 1/150~1/200 程度、河岸に樹林が迫る区間あり（一部）
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：メダカ、タモロコ、ドジョウ、モノアラガイ、カワセミ など



聖徳太子の墓



葉室歴史公園



飛鳥川



梅川



太井川

7) 千早川下流・佐備川エリア（千早川下流部、佐備川、宇奈田川、水越川下流部）

[エリア特性]

千早川下流・佐備川エリア（里地ゾーン-B）は、川沿いを中心に宅地や農地が広がり、周囲は樹林に囲まれています。河川は、瀬・淵が見られ、川沿いの樹林も多く、棚田に代表される農地と一体となって里地の自然環境を形成しています。また、沿川には体験農園などのある「サバーファーム」も位置しています。

[河川の現状]

■千早川下流部

- ・河道：幅約 10～35m、河床勾配 1/25～1/110 程度、河岸に樹林が迫る区間あり
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：タモロコ、ドジョウ、モノアラガイ、カワニナ、オオサンショウウオ（1981 調査） など

■佐備川

- ・河道：幅約 20～30m、河床勾配 1/200～1/300 程度、河岸に樹林が迫る箇所あり（上流部）
- ・水域：概ね平瀬
- ・生物：タモロコ、ドジョウ など

■宇奈田川

- ・河道：幅約 10m、河床勾配 1/750 程度、護岸が連続
- ・水域：概ね平瀬

■水越川下流部

- ・河道：河道 幅約 10m、河床勾配 1/20 程度、蛇行
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：タカハヤ など



サバーファーム



棚田（下赤坂）



千早川下流部



佐備川



宇奈田川



水越川下流部

8) 千早川上流・天見川上流エリア（千早川上流部、天見川上流部、水越川上流部）

[エリア特性]

千早川上流・天見川上流エリア（山地ゾーン）は、樹林が広がり、「金剛生駒紀泉国定公園」に含まれる良好な自然環境を有し、「二上山」、「金剛山」などの山々や「赤滝」などの景観資源がみられます。また、「千早城跡」など、楠木正成にまつわる歴史資源があります。河川は、勾配が急で瀬・淵が連続し、両岸に樹林が迫る溪流の様相となり、周辺の山地と一体となって良好な自然環境を呈しています。

[河川の現状]

■千早川上流部

- ・河道：幅約 10m、河床勾配 1/25 程度、蛇行、河岸に樹林が迫る
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：カワニナ など

■天見川上流部

- ・河道：幅約 10m、河床勾配 1/80 程度、蛇行、河岸に樹林が迫る
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：アブラハヤ、カワニナ、ゲンジボタル など

■水越川上流部

- ・河道：幅約 10m、河床勾配 1/20 程度、蛇行、河岸に樹林が迫る
- ・水域：瀬、淵がみられる
- ・生物：タカハヤ、カワニナ など



二上山



千早川上流部



天見川上流部



水越川上流部

(2) 河川環境の課題

石川ブロックの河川では、良好な自然環境の保全、流域の豊富な歴史・文化資源との連携、農業と自然の共生といったことを、ゾーンの特性に配慮しながらエリアの状況に応じて取り組んでいく必要があります。

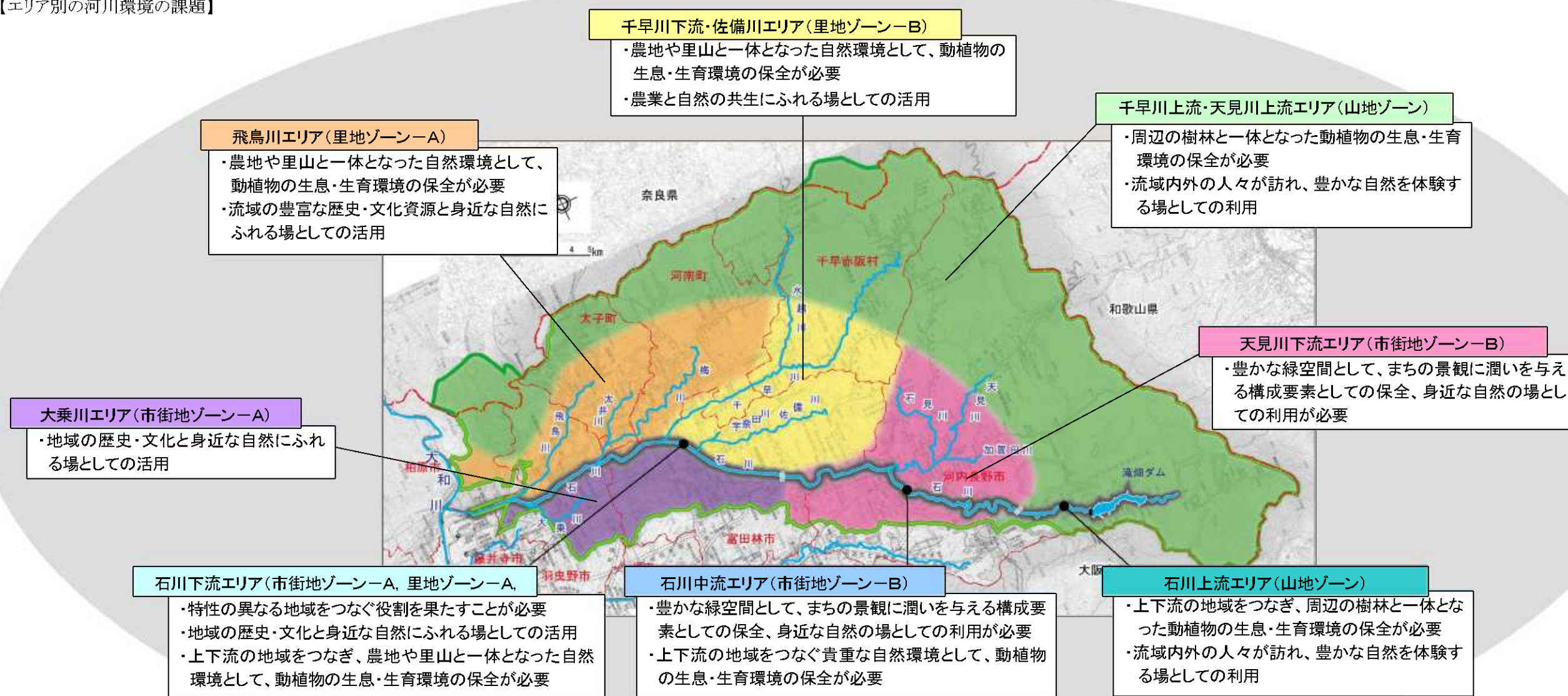
「石川エリア」においては、特性の異なる地域をつなぐ役割を果たす空間として、上下流の地域をつなぎ農地や里山と一体となった自然環境としての動植物の生息・生育環境の保全、流域の豊富な歴史・文化資源と身近な自然にふれる場としての活用を両立させていく必要があります。

「市街地ゾーン」を流れる河川では、数少ない身近な自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要です。特に「市街地ゾーン-A」を流れる河川では、流域の豊富な歴史・文化資源と身近な自然にふれる場としての活用、「市街地ゾーン-B」を流れる河川では、川沿いの樹林とともに、まちの景観に潤いを与える構成要素としての保全、身近な自然の場としての利用も必要です。

「里地ゾーン」を流れる河川では、農地や里山と一体となった自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要です。特に「里地ゾーン-A」を流れる河川では、流域の豊富な歴史・文化資源と身近な自然にふれる場としての活用、「里地ゾーン-B」を流れる河川では、農業と自然の共生にふれる場としての活用も進めていく必要があります。

「山地ゾーン」を流れる河川では、周辺の樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全が必要です。また、流域内外の人々が訪れ、豊かな自然を体験する場としての利用も必要です。

【エリア別の河川環境の課題】



第3節 石川ブロックの将来像

◆ まちづくりにおける河川・水辺の役割

大阪府都市基盤整備中期計画(案)	南河内地域版 地域整備アクションプラン(案)
<p>既存ストックを活用しながら、限られた投資で最大限の効果をあげるため、「都市の再生」「安全で安心できる都市づくり」「府民と創る開かれた土木行政」の実現をめざして、事業の重点的かつ効率的な整備に取り組んでいます。</p> <p>安全で人にやさしく活力ある都市・地域づくりの促進のため、まちづくりに関わる関係市、府関係事務所や住民、NPO等が、情報を共有し、事業等の連携を図り、住民協働のもと継続的に地域づくりに取り組みが必要です。</p>	<p>当地域では他地域では見られない豊富な自然環境や各所に点在している歴史的資産を活かしつつ、安全で空間と時間にゆとりのある郊外住居空間の形成及び、駅周辺部においては駅を中心に市街地が発達してきた街の成り立ちを踏まえ、かつての魅力と活気に溢れる地域の拠点としてその再生を地域とともに目指すことを将来像としています。</p>

表一 各市町村のまちづくりにおける河川・水辺の役割(1/3)

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
羽曳野市	テーマ	『人・時をつなぐ 安心・健康・躍動都市 はびきの』 H18.4より	『歴史のかんじられる 活気あふれる 交流都市 “はびきの”』 H19.2素案より	『花とみどりにかおる雅びのまち羽曳野』 H12.5より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園等、拠点となる公園の整備 水辺等の自然環境の保全・市民のレクリエーションの場の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 河川緑地軸として石川、石川河川公園及び飛鳥川を位置づけ、環境保全機能、防災機能、レクリエーション機能の活用促進。 大乘川も市街地部での積極的なみどりの創出を図る。 河川の水辺空間の持つ自然特性を活かした親しみがもてる景観形成 	<ul style="list-style-type: none"> 市の緑軸として、河川の積極的な緑化整備 大乘川存在感を向上させる環境、景観面の緑化整備 ふるさとの川モデル整備事業と併せた飛鳥川の緑化整備
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識向上のためハザードマップ作成・周知 雨水処理施設等の整備、雨水調整池の設置指導 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災・減災意識の高揚 →防災訓練・教育、ハザードマップの公表等による情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難地として石川河川公園の整備の促進
	個性・地域性		<ul style="list-style-type: none"> 石川、飛鳥川の周辺環境と一体となった景観形成 	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動や広域的な交流活動に対応した親しみの持てる水辺空間としての石川河川公園の早期整備・充実の促進 市街地景観でランドマークとなる河川の保全・整備
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷清掃活動、市民参画による美化活動の推進 		
	生態系			<ul style="list-style-type: none"> 動物の生息地として重要なみどりとなる石川の保全 飛鳥川、大乘川、小用水路でのビオトープネットワークルートの緑としての整備
富田林市	テーマ	『みんなでつくる、育もう、魅力あるまち 富田林』 H19.3より	『ひと・みどり・文化 定住のまち富田林』 H19.3より	『緑がささえる豊かな暮らし、人々がともにはぐくむ富田林のみどり』 H19.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 石川などの水辺において、自然生態系との調和を図りながら、市民が水に親しみ、憩える空間を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園、千早川、佐備川、宇奈田川の親水空間資源の保全と活用 石川河川公園へのアクセスの改善、緑の基本ネットワークの形成、親水空間の保全と親水レクリエーション軸の創出 小河川、水路、ため池など身近な親水空間の整備・保全 各河川の親水性の保全・活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 府営石川河川公園は、レクリエーション利用、河川の動植物の生息環境として、自然レクリエーション拠点。 石川河川軸において、広がりある緑の空間と景観を活用しながら、憩いや環境学習、健康増進活動等、人々の多様な活動の場となる水と緑の交流軸の形成
	安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 河川における防災機能の強化 宇奈田川の改修事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 府営石川河川公園は一時避難地として位置づけられており、防災上重要な公園・緑地となる。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 自然、歴史環境の保全と活用 石川などの自然景観の保全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川・山並みの遠景の保全、石川河岸の中景の保全、近景としての佐備川、千早川、宇奈田川の水辺景観形成 石川河岸段丘等の斜面緑地の保全 歴史的なまちなみ、河川の水際線等の安全で快適に通行できるまちづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川沿いの河岸段丘崖の緑は、工場と住宅を隔てる緩衝帯、生態的にも重要なエコトーンであり、保全を検討。 宇奈田川の河川沿いの棚田、ため池、雑木林が一体となった良好な自然環境、河川沿いの竹林周辺のホタルの生息地の保全の取り組み。
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> 河川敷等の清掃活動などを通じて市民意識の向上 	
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> アユが遡上できるような河川の環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園の整備において、水辺の自然をできるだけ保全しながらの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、大和川に天然アユの遡上。石川にもアユ等の遡上を！

表一 各市町村のまちづくりにおける河川・水辺の役割(2/3)

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
河内長野市	テーマ	『みんなで創ろう 潤いめぐる緑と文化の輝くまち 河内長野』 H18.3より	『みんなで創ろう 潤いめぐる緑と文化の輝くまち 河内長野』 H12.6より	『暮らしにうおいをもたらす緑をはぐくみながら、緑の恵みを次世代に伝えていくまち』 H12.6より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と回復、水環境の保全 野生動植物の生息・成育環境の保全 自然にふれあう場や機会の充実 水辺や山なみなどの景観の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な緑・水辺空間を保全・活用したうおいあるまちなみ形成 中間山地の保水等の公益的機能や多面的機能の保全・活用 親水空間の保全・創出等による水辺空間の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の一部に残される自然護岸・緑については、水辺環境の保全、景観、レクリエーションなどの観点から一体的に保全・整備を検討し、心地よい公共空間づくりを目指す。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川の改修 雨水排水施設の整備 排水路、用水路の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽橋の優先的補修・補強、土木構造物の耐震性の強化 複層林、広葉樹林などの育成・保全による保水機能の向上の促進 大規模開発に対する調整池設置等による治水対策の指導 準用河川、普通河川の改良・改修事業の推進 多大な被害が予想される箇所を優先した防災護岸の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 保水・遊水機能を持つ樹林地や農地は、豪雨時の河川等への負担を軽減する役割を担う。市民生活の安全性の確保や防災性の向上の観点からも緑づくりの推進が重要。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的・文化的・自然的遺産の継承と活用 「河川を美しくする都市」宣言 S60.12 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡・文化財と一体となった自然的環境の保全 山間・丘陵部や田園地帯の河内長野らしい原風景の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 河川でのマス釣り大会、子ども魚つかみ大会、ホテル鑑賞会を実施
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主的な地域活動の支援、HP等の作成による市民への情報提供 アドプト制度、啓発活動・美化運動による自然環境・景観の保全。 森林保全に対する市民参加の方策を検討 	
	生態系		<ul style="list-style-type: none"> 生物保全空間としての水辺環境の保全の推進 河川改修事業を進めながら、生態系や景観について調査・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩湧山一帯の生物生息地をビオトープの核とた、拠点的な公園、グリーンベルト、自然環境の保全に配慮した河川整備、ビオトープネットワークの形成
千早赤阪村	テーマ	『人・自然・歴史―やすらぎの里 ちはやあかさか』 H13.3より	『人・自然・歴史が共生する大都市近郊のまち』 H14.3より	葛城山や金剛山の恵まれた自然と楠公誕生地等の歴史を通じて、豊かな暮らしと交流の広がるまち H14.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 親水性のある多自然型の河川整備等により、多くの生物の生息環境・環境学習の場の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 保安林指定の山林について、広域的な保水機能・水源涵養機能等の観点から、より自然度の高い紅葉樹林や照葉樹林の保全・拡大に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物生息空間を保全する多自然型川づくりを進める。 千早川・水越川などで、自然観察が行えるような環境整備を進め、住民が水と緑にふれあえる場づくりを進める。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 水害の危険性のある河川について、周辺の自然環境に配慮した改修等を大阪府への要望。 	<ul style="list-style-type: none"> 千早川及び水越川等、必要に応じ河川改修や砂防工事を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 伐採跡地での自然度の高い広葉樹等の拡大に努め、森林の保水機能等を保全。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 楠木正成をはじめとする歴史文化に関する調査・研究・保存、ネットワーク形成 		
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 突発的な災害に自主的な対処のための住民の防災意識の啓発、防災教育、防災訓練 環境問題に関する学習機会の拡大や啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所や避難路等の確保や整備充実 自主防災意識の啓発 緑化活動、景観形成等、住民参加による身近な生活空間づくり 	
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> 農林業の開発との調和を図りながら、ブナやクリンソウなどの貴重な植物の保全 河川の水質保全に努め、良好な水辺地を保全し、より多くの生物が生息できる環境の確保 		<ul style="list-style-type: none"> 金剛山などを野生動植物のビオトープの核とし、千早川や水越川などの河川は、河川周辺の緑地とあわせた水辺空間を保全し、自然と共生するネットワークの形成を図る。
河南町	テーマ	『みどりと文化活気あふれる健康のまち』 H13.3より	『みどりと文化活気あふれる健康のまち』 H13.3より	『人・自然・歴史が共生するまち』 H13.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 河川や公園、公共建築物の整備における自然環境や歴史的環境への配慮 市街地等周辺においては、河川やため池など自然に親しめる空間や樹林地などの緑の保全 河川・ため池を生かし、人や生きものにやさしい水辺空間の整備 水辺空間を利用した石川河川公園の整備の要請 	<ul style="list-style-type: none"> 石川等を広域緑地軸として位置づけ、レクリエーション機能等の強化 「石川河川公園」をレクリエーション地として位置づけ、産業振興を図る。 住民が身近に感じ、生活環境を向上させる緑地として重要な役割を担う河川等の水辺空間などの植栽等の充実、緑化の促進 河川改修では、住民が水辺に親しめるよう、散歩道や休息所などの整備や生き物に配慮し、また水辺に近づける整備の推進に努める。 石川、梅川等、水辺が感じられる景観整備 	<ul style="list-style-type: none"> 梅川、千早川等の緑のネットワーク形成 →河川沿いに残る樹林地の保全（緑地保全地区の指定、条例や陽光、協定等）やいきものの生息・移動空間に配慮した護岸整備 →堤防等を活用した散策路や休息所の整備、下水道整備等による水質の確保等
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川の改修促進、老朽ため池等整備の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 梅川ほか、順次改修事業を進めるとともに、浚渫等の維持管理に努める。 	
	個性・地域性		<ul style="list-style-type: none"> ダイヤモンドトレールや河内ふるさとの道、自然と歴史の散歩道などとの連携を図り、河川や古墳等の豊かな自然環境や歴史的環境などを活かし、住民等が気軽に散策できる道筋や休息所などの整備、充実。 	
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の促進、環境活動のための情報提供、まちづくりに取り組む組織の育成等、住民参加のまちづくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 河川やため池での植樹やプランター花壇等を利用した花づくり。 生活雑排水の流入抑制、ごみ拾いや草刈り等の普及啓発活動の展開
	生態系			<ul style="list-style-type: none"> いきものの移動や生息・生育に配慮した河川・ため池改修や砂防事業等の促進

表一 各市町村のまちづくりにおける河川・水辺の役割 (3/3)

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
太子町	テーマ	『みんなでめざします豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまち太子町』 H18.4より	H19年度策定予定	『いにしえよりはぐくまれてきた歴史・文化、暮らしとともにかかわってきた自然を大切に した、くらしやすく個性と魅力のあるまちづくり』 H12.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 公共用水域の水質汚濁の防止 自然生態系の保全や自然との共生 		<ul style="list-style-type: none"> 農業振興を図りつつ、梅川周辺～石川沿いの田園環境の保全方策の検討 太井川等の河川空間、堤防等を利用した散歩道、ウォーキングトレイル等、みどりのネットワーク形成に努める。 太井川の旧河川敷を利用した、(仮称)太井川公園の整備の促進 水源涵養等の多様な機能を有する二上山を含む山林の保全 飛鳥川について、万葉の草花を基調とした緑化、親水空間の整備、下水道整備等より、万葉のせせらぎの川づくりに努める。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備などの治山・治水対策 		<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥川、太井川等、周辺に残る樹林地の保全や多様ないきものの生息・生育環境に配慮した、育成型の治水事業
	個性・地域性			<ul style="list-style-type: none"> 太井川、飛鳥川等、山林や農地、歴史資源と一帯となった良好な環境や景観の保全 水と緑にした示す場としての周囲の植生の保全 トンボやホタル等のいきものの生息に配慮した整備による水辺空間の保全
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 水辺空間整備について、周辺住民も含めた維持管理体制の整備(唐川ホタルを守る会等)。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活雑排水の流入等を抑制、定期的なごみ拾い等の普及啓発活動の展開 魚の放流やホタルの飼育等 河川堤防への植樹やその維持管理を担うボランティア組織の育成 水源涵養等のため、林業振興とともに森林ボランティアの育成
	生態系			<ul style="list-style-type: none"> 生物生息空間に配慮した河川、ハイキングルート等による緑のネットワーク形成
柏原市	テーマ	『水と緑にやすらぎ 心ふれあう 魅力あるまち』 H13.3より	『緑と水とふれあいのある住みよいまち』 H10.10より	『緑が生活の中に息づくまち かしわら』 H13.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 市内の河川の水辺環境の充実・育成を図り、周囲の緑を含めた一体的な整備による「川の風景」づくりを進める。 自然や生態系への配慮・水辺とふれあえる環境の創出 河川敷の親水空間は特色ある河川敷公園として、石川あすかプランの事業の促進 	<ul style="list-style-type: none"> うるおを与える重要な自然空間である河川と、ヒューマンスケールの交流が生まれる貴重な歴史空間である旧街道にネットワークの軸としての機能を与え、地域性を積極的に活かした都市構造とする。 大和川、石川を水と緑のネットワークの骨格として位置づけ、緑水軸については、その自然的環境の保全とともにレクリエーションの面での活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の骨格となる山々や大和川・石川の恵まれた緑を保全し、自然環境の乏しい市街地へ連絡する緑の核となるよう保全 市街地内において、モザイク状に点在している個々の緑の質を高めながら、緑の効果的な配置や街路樹、河川・水路等によるネットワークづくりに努める。 川に面する区域の景観誘導の検討や水質浄化の促進、多自然型護岸の導入の促進など、自然豊かで、潤いのある景観の保全に努める。 河川や水路を活用した水辺のある歩行空間の整備
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備・改修の促進 流出抑制施設の整備 高規格堤防(スーパー堤防)の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> 防災上特に重要である大和川と石川については、周辺都市との連携のもとで、河川の水害の軽減・防止を図るための総合的な治水対策を行う。 風水害時の避難所となる施設では、避難所の開設が円滑となるよう機能を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 階段護岸、河川プールなど災害発生時の消化・生活用水の確保 河川を災害時に活用できる水辺空間の整備
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や歴史的な資源を活かしつつ、貴重な緑の機能をより発揮できるよう、公園をはじめ緑道、河川緑地、道路の街路樹などで結ぶ緑のネットワーク化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大和川、石川等の主要な河川においてはその水辺景観の充実・育成に努め、周囲の緑景観と一帯となった柏原市のイメージである「川の風景」づくりを目指す。 →原川では親水機能を高めたコミュニティ道路を整備し、桜並木とマッチしたうるおいある景観を与える。 	
	ひと			<ul style="list-style-type: none"> ワイルドフラワーによる河川敷の修景 市民の手による河川・水路の管理
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> 河川水量の確保 		<ul style="list-style-type: none"> 市街地の河川や水路について、改修や整備の際に生物の生息空間の創出や親水空間の整備に努める。 大和川・石川では、ヨシ原の再生、わんどの形成等、自然工法による護岸・河床整備、河川敷緑地形成等、連続的な生物生育環境の提供、水質の浄化